

令和4年度老人保健健康増進等事業(老人保健事業推進費等補助金)

「認知症地域支援推進員の配置形態や活動実態に応じた機能強化に関する調査研究」

認知症地域支援推進員がもっと楽に活躍しながら地域共生の実現を：推進員の配置と機能強化の促進提案

目的

認知症施策推進大綱で示されている認知症地域支援推進員(推進員)に期待される役割が拡大・多様化している。各市町村における推進員の更なる活動の促進に向けて、実態を踏まえて課題を整理し、推進員の機能強化を図るための方策と資材(活動ガイド・活動情報集・活動情報動画・活動情報共有システム)を提案する。

概要

主な事業内容

本人組織代表、家族組織代表、自治体担当者、推進員、有識者 16名からなる検討委員会及び 8名からなるワーキングチームを設置し、以下を実施した。

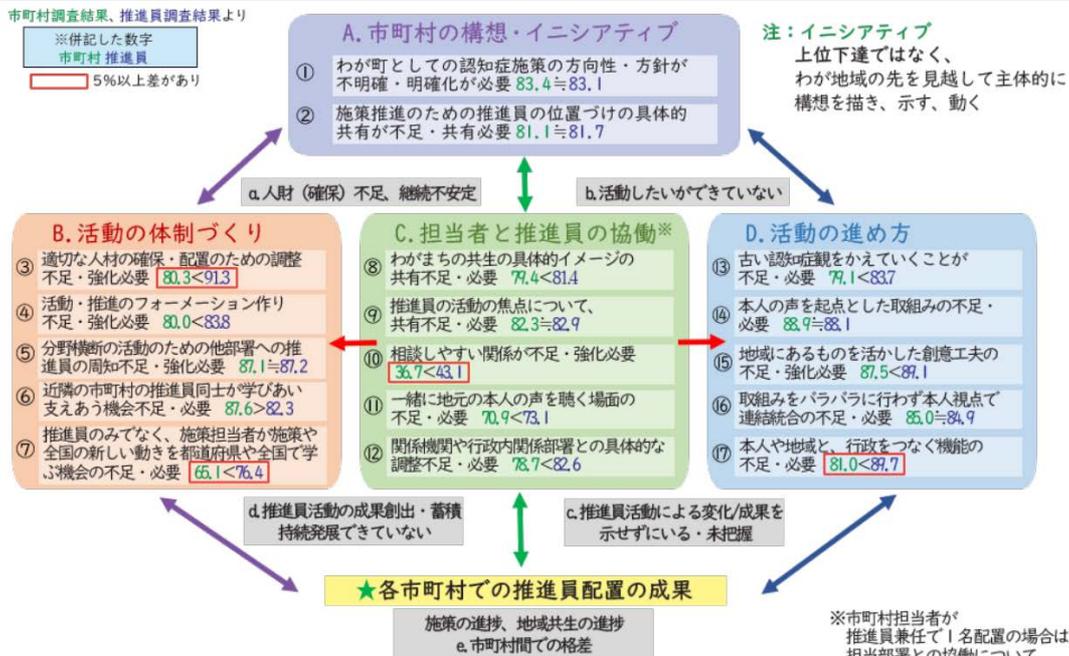
1. 「認知症地域支援推進員の配置と活動に関する全国調査」の実施。
2. 推進員の配置と機能強化のあり方に関する「オンラインワークショップ」の開催。
3. 配置及び機能強化促進のための推進員活動情報共有システムのあり方の検討と資材 5種類を制作。
 活動ガイド、活動ガイドエッセンス版、活動情報集、活動促進動画(2点)、活動情報の共有システムの構築。
4. 報告会を開催。参加者アンケート調査を実施。
5. 速やかな普及のためガイドエッセンス版と活動情報集を全都道府県及び全市町村に送付。Web で公開した。

主な事業結果・成果

【全国調査結果】【回答数(率)】① 市区町村 1,111(63.8%) ② 推進員 3,707(45.9%) ③ 都道府県 47(100%)

- ① 市区町村: 6割が配置の仕方変更あり・8割強が機能強化を進めたい。
- ② 推進員: 4割以上が地域共生の実現につながる多面的な成果を創出し始めている・2~6割が様々な活動に取り組みたいがやれていない・5割が推進員同士が機能を高め合う促進役になりたい。
- ③ 都道府県: 2割強が推進員の基本姿勢・焦点を市町村に提示・8割が推進員の機能強化を進めたい。

推進員の機能強化に関する課題の整理(課題マップ)



推進員の配置と機能強化の促進のためには、表層的・部分的・単発的な取り組みでなく、基本的・全体的・継続的な促進策が必要。機能強化の焦点は「本人視点」「本人発信」「社会参加」であり、推進員が立場を活かしく本人が望む社会参加の推進・地域ネットワーク拡充・地域共生の実現への成功体験を創出・共有・波及していくメカニズムとフォーメーションが重要。それが育つための地域を基盤とした市町村・都道府県による重層的な後方支援が効果的であることが示唆されました。



認知症地域支援推進員 活動促進のための資材一式
 推進員活動ガイド、活動情報集、動画、情報共有システム(検索機能付き)